2025年度
# 野洲市教育研究所だより
No.06
2025.6.13

## ５年目スキルアップ研修オリエンテーション

５月２０日（火）に今年度の小中学校の５年目スキルアップ研修のオリエンテーションを行いました。今年度は、中主中１名、野洲中２名、野洲北中１名、中主小２名、祇王小２名、三上小１名、野洲小２名、の計７校１１名で研修を行います。今年度は対象の先生方が多く、次年度に回ってもらった学校もあります。ご協力ありがとうございます。

５年目スキルアップ研修の先生方

５年目スキルアップ研修は、これからの教育を担う若手教員の授業力・指導力の向上をめざし、各学校でミドルリーダーとして活躍できるよう、野洲市の教育を支えるための人材育成が目的です。

まず、学校での大半の時間を占める授業において力をつけ、子どもに「分かった」「できた」の思いをもたせ、学ぶことに興味をもたせることが重要です。そのためには、課題(学習のめあて)の提示だけでなく、**課題を子どもたちと設定していくことで主体的な学習に**つながります。また、対話的とは、**論理的に考えたり他者に分かりやすく表現したりする実社会で活用する能力、つまり汎用的能力**の育成につながるものです。**深い学びとなるために、なぜグループ学習をする必要があるのか**を子どもも教師も分かったうえで取り組んでいかなければ、学習のねらいには到達できるとは言えません。ふりかえりも学習課題（めあて）に対してどうであったかを考えるのはもちろん、どのような学び方であったからめあてに到達できたのかを明らかにすることで、これからの学習でどのような視点で考えていけばよいのかが身についていきます。

研修の予定は以下のようになっています。

| | | |
|---|---|---|
| １学期 | ５月２０日 PM | ・オリエンテーション（全員研修） |
| | ５月３０日 PM | ・研究論文の書き方講座（全員研修、他の応募者と合同） |
| | ６月　２日<br>～<br>７月　９日 | ・モデル教諭の参観授業と学ぶ会　　・授業公開と座談会 |
| ２学期 | １１月２８日迄 | ・研究授業と研究会　【代表者研究授業と協議会 PM（全員研修）含む】 |
| ３学期 | １月　９日 | ・研究論文提出〆切 |
| | １月２０日 PM | ・振り返り（全員研修） |

各校においては、日程調整やモデル教諭の推薦等ご協力いただきありがとうございます。モデル教諭には市内７校１２名の先生方があがりましたが、日程調整の関係で、中主中１名、野洲中２名、野洲北中１名、中主小２名、三上小１名、野洲小２名、の計９名の先生方にお世話になることになりました。せっかく授業を見せて、若手育成に協力しようと思っていただいたのに今回見せていただけなくなった先生方には申し訳なく思います。次年度またよろしくお願いいたします。

モデル教諭の授業では、本時の授業の課題設定や主体的・対話的で深い学びになる手立てやしかけ、グループ学習での取り組ませ方、そして振り返りなどたくさんのことを学ばせていただきたいと考えます。授業後の学ぶ会で、お話を聞かせていただきます。伸びしろのいっぱいある先生のためにご協力いただきますようよろしくお願いします。

校内体制が許すなら、他の先生方もモデル教諭の授業を観に来てください。勉強になります。

（受講者の感想）

- 授業のスキルアップができるよう、いろいろな視点から教材研究をしていこうと思いました。
- 研修の流れが理解できました。論文等を通して新しい学びを得られるようにしたいです。
- 公開授業やモデル授業の日程が決まったので、単元計画を立てたり、授業の展開を考えたりして研鑽に励みたいです。
- ５年目のメンバーがたくさんいるので心強く感じました。一緒にがんばっていきたいです。

# まなび野洲チャレンジ！ 28

今回は、この問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。
答えは最下段に載せています。

文化ホール前の
北村季吟像

北村季吟（きたむらきぎん）は、江戸時代の俳人、歌人として活躍した人で、古典文学の注釈書を著した国文学者としても知られています。

野洲郡北村（現、野洲市北）に生まれ、祖父が永原天神（現、菅原神社）の連歌の指導者であったことから、季吟も文学の道へ進んだようです。

16歳で京都の安原貞室（やすはらていしつ）に入門し、22歳で松永貞徳（まつながていとく）の弟子となり、俳諧や古典を学びました。また、松尾芭蕉は、北村季吟の教えを受けた弟子のひとりです。

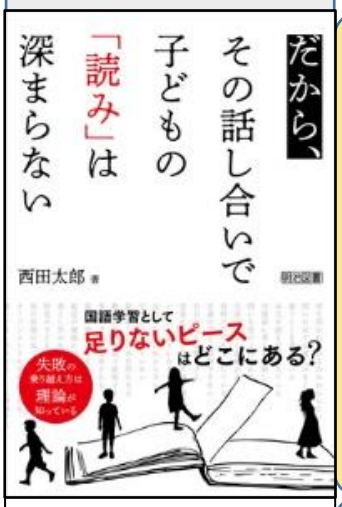
国文学者としては「源氏物語」「枕草子」「徒然草」「土佐日記」などの古典文学に読みやすく注釈をつけて出版しました。また、俳諧や和歌を高めるためには、古典文学の教養が必要であると考え、講義も行っていました。

60歳の時、京都の新玉津嶋神社の社司となり、66歳で江戸へ赴き、和歌の指導をする「歌学方（かがくかた）」として、将軍〇〇〇〇に仕えました。

さて、将軍〇〇〇〇とは、誰のことでしょうか？

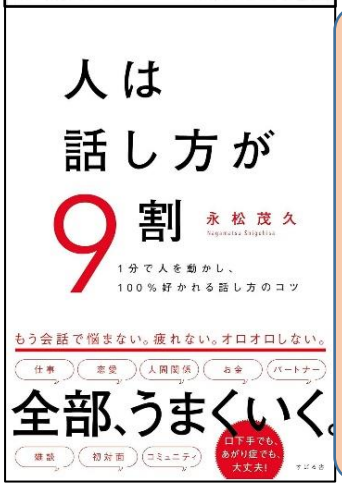
①徳川家光　②徳川綱吉　③徳川吉宗　④徳川家治

## おすすめの図書




『だから、その話し合いで子どもの「読み」は深まらない』
著者：西田　太郎　　出版社　明治図書

本書は三つの章で構成されています。
第１章では読みの交流にかかわる理論的な背景を述べています。読みの交流における「話し合い」をいかにして充実させるか、という本書の趣旨に沿って、導入・話し合い・全体共有という学習活動を切り口にしています。
第２章では学習場面を取り上げ、その背景にある問題の所在を明らかにしています。
第３章では、小学校第一学年から第六学年までの文学教材を扱い、第２章で示している手立てを用いた学習デザインを提案しています。




『人は話し方が９割』
著者：永松　茂久　　出版社　すばる舎

もう会話で悩まない！疲れない！オロオロしない！――もっと話し方がうまければ、人生うまくいくのに……。「話すこと」にまつわる悩みを挙げるとキリがありません。本書で伝えているのは、コミュニケーションの基本である会話がうまくいくようになる、ちょっとした、でも多くの人が気づいていないエッセンスです。過去に会話で失敗したトラウマもあっさり消え去ってしまうほど、人と話すことがラクになり、人間関係も、人生も、全部がよりよい方向に動き出します！

まなび野洲チャレンジ答え　③